

それから心齋橋通りの真ん中を歩るき乍ら、

ダ、ダ、ダダダ

ダ、、、ダ

ダダダ、ダ、ダ、、、ダ、ダ、ダ。

ダ、でねいもなみなダ、だ。

ナムアミダブナムアミダブ。

ア、法然親ランの糞坊主。

南無妙法蓮華經。

日蓮坊主は生臭や、

(彼は漁師の息子だから)とか。

ダ、ダ、ダ、ダ、イスト、ダガバジマクワウリと繰り返しながら、ユツクリ／＼下駄で評子をとつ

て唄った。

それから電車に乗つて梅田へ引きかへすと、姉は先に船に乗るからと紙片に書いてある。